

お客様のご要望にお答えして 新作が生まれました

「家族で、2人が同じ色の箸を使いたいと困っています。点も付けたらいいかな?」
使分けられるように作ってもらえますか?
お客様からはいろいろご要望をいただきます。

毎年12月に「えま展」をさせていただいている、岡山県・津山のKIZOWさんから、こんなご要望をいただいたりました。そこで、昨年12月の「えま展」に間に合うよう、2種類のデザインも考えました。色の組み合わせも変え、10種類の新作が出来ました。しかし、「家族で、2人が同じ色を使いた」というような問題は、どうも起きないだろうと思われ、KIZOWさんには、たくさんは送りませんでした。——作る時間もありませんでしたか。

すると、店主・水野さんは「この箸は売れそうに思います。予約を取らう作ってもらえますか?」と。

そして4月末、つまり今年のお正月、本音にたくさんのご注文をいただきました。

(今後、新製品として価格化してゆく予定です。発売日は未定です。#06やごい色シリーズの展開です。)

スズ・買物をする 女性の意識は豊か

以前、テレビニュースで、スズのスパーマーケットで買



物をしている女性インタビュー
—と受け持っている場面もありました。

スズさんは、買物をする際、同じ用途の国産品と輸入品を並べられた場合、少く高くて国産品を選ぶのだそうです。

インタビューを受けた女性は言っていました。「国産品を購入した方が、国が豊かになるから当然です」
スズさんは、そういう教育を受けた、そういう意識があるそうです。(女性に限らず)

日本にはそういう教育はなく、そういう意識は低いのに思っています。僕に聞いたら、

別のニュースで「行政の企業支援」について報道がなされていました。行政は、限られた予算の中で、どんな企業を支援すれば効果的かと考えているか。

それは国産材料メーカーや国産部品メーカーから99%仕入れをして、企業を支援すること、だそうです。(その企業を採り出すためのソフトが開発されたというニュース)



—先ほどのスズさん女性と同じ考え方を。 ←毎年えま展をしてくれる川田さん

化学物質過敏症のお客様

99%はありませんが、化学物質過敏症とされるお客様からご注文をいただきます。
昨年12月にご注文をいただいたお客様は、「#02シリーズでも心配なので、塗料の色を分けたい」とのご注文でした。お送りしたところ、気に入ったので追加のご注文をいただきました。そして先日、使いたいのと遠くに住む両親に自然塗料の色をプレゼントしたいと連絡がきました。
こういう時、作り手は喜べます。

化学物質過敏症の方は、反応する物質の程度もさまざまです。別のお客様から、お礼状をいただいたことがありました。無漂白のキッチンペーパーに鉛筆で書かれました。こういうものしか使えないのだそうです。
無農薬のお茶を友人の紹介で購入したのだけれど、輸送の途中の空気が原因で反応してしまうという話も聞かされたことがありました。



植物素材・やさしい暮らし 箸 えま
874-0938 大阪府河内郡茨田町5-25 竹工房
TEL: 0777-261570 / EX-4 eama@eama.net



プレゼント用に200円から2000円まで

苦小牧民報

竹製品の展示販売会
ナチニラルショップかわたの2月1日まで
苦小牧